



宝くじ助成で祭り用品整備

白浜区は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、祭典時に使用する道具や屋台の放送設備などを整備しました。

町内会の関係者は、伝統行事に多くの住民が参加することで、連帯意識や郷土愛が高まり、暮らし良い白浜区になることを期待しています。

◀祭典で使うためにちょうちん・小太鼓・ばち・横笛が整備された



地元の魅力知るきっかけに

浜岡中学校が11月5日、市職員を講師に招き、総合学習を実施しました。授業を受けた1年生約180人は、シティープロモーションや観光、子育てなど市の政策について理解を深めました。藤原未有さんは「市の取り組みや魅力を知ることができた。これからも市内外の人が御前崎市に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるよう努力したい」と話しました。

◀市職員から市の政策について学ぶ生徒



灯台を守る会が表彰受ける

灯台の歴史や文化の伝承、保存活動に取り組む「御前埼灯台を守る会」が11月1日、第三管区海上保安本部長から表彰されました。これを受け齋藤正敏会長と高塚清副会長は11月6日に市役所を訪問。柳澤市長に「感謝状をもらえてうれしい。これからも灯台を一生懸命守りながら、灯台の役目を周知していきたい」と語りました。

◀日頃の活動が評価され決意を新たに齋藤会長と高塚副会長



Eバイクでスタンプラリー

市内の観光名所を自転車で巡るスタンプラリーが11月7日に実施され、県内外の自転車愛好家16人が周遊を楽しみました。この取り組みは、市が静岡県カントリー浜岡コースへの委託により実施する「御前埼スポーツ振興プロジェクト」の一環です。参加者は、愛用している自転車やなぶら館で貸し出している電動自転車「Eバイク」を利用して市内15カ所を回りました。

◀スタンプラリーに出発する参加者